

第 8 章 文化財

第 1 節 文化財の保存と活用

第 2 節 保存・活用の方針

第 3 節 資料館

第 4 節 市史編さん

第1節 文化財の保存と活用

1 文化財の現状と取り組み

私たちの住むうるま市は天願断層を境に本島北部と中南部の自然的な特徴があり、本島中南部最長の海岸線と干潟をもっています。その環境での暮らしは山と川と湿地、そして海とともに生業を営むことによって様々な祭りや芸能などを育んできました。少なくとも今からおよそ 9,000 年前には人々が土器などを使い生活していたことが分かっており、その後も狩猟採集や農耕、交易などを通して生活を豊かにしてきました。今日の私たちの暮らしは、そうした先人から受け継いだ貴重な歴史文化遺産を基盤として成り立っています。

市の代表的な文化財は、世界遺産勝連城跡をはじめとして国指定文化財 4 件、国登録文化財 1 件、県指定文化財 7 件、県選択文化財 1 件、市指定文化財が 44 件あります。その多様な文化財を俯瞰し、総合的・一時的に保存・活用することは地域の特徴を活かした地域振興に貢献するとともに、確実な文化財の継承につながります。これからの施策には住民・企業・民間団体・文化財課・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制の構築を図り、市内の貴重な文化財の存続につなげていくことが期待されます。その文化財の継承に努めるため、以下の施策に取り組みます。

1. 自然遺産・歴史文化遺産の活用（地域活性化）

本市の歴史文化遺産を保存し、その整備を進め、市民の歴史と文化の学習に寄与することで、郷土に愛着と誇りを育んでいきます。また、自然遺産・歴史文化遺産を活用することにより、地域の活性化に結びつけ、そして経済へ波及させるべく促進します。

2. 世界文化遺産「勝連城跡」の保全と復元整備ならびに生涯学習・学校教育の環境整備

世界文化遺産の勝連城跡については、歴史的環境の保全を図ります。また、城壁や城門などの復元整備を進めるとともに、あまわりパーク等を活用しながら、歴史学習のできる環境の整備を進めます。さらに、各種市民講座の開催や学校教育における歴史学習の推進を図るとともに、観光振興や地域活性化など、様々な場面で積極的な活用を進めていきます。

3. 自然遺産・歴史文化遺産の調査と新たな文化財の指定・未指定文化財の整理

市内各地に残るさまざまな自然遺産ならびに歴史文化遺産の保存およびその調査を継続的に進め、市民協働による登録とその保存環境を整えます。それらの成果をもとに新たな文化財の指定を追加し、未指定文化財も整理することで、本市の魅力づくりを図ります。

3 指定文化財一覧

■ 国指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	伊 波 貝 塚	昭和47年5月15日	
2	”	安 慶 名 城 跡	”	
3	”	勝 連 城 跡	”	
4	”	仲 原 遺 跡	昭和61年8月16日	

■ 国登録文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	平 敷 屋 製 糖 工 場 跡	平成27年1月26日	

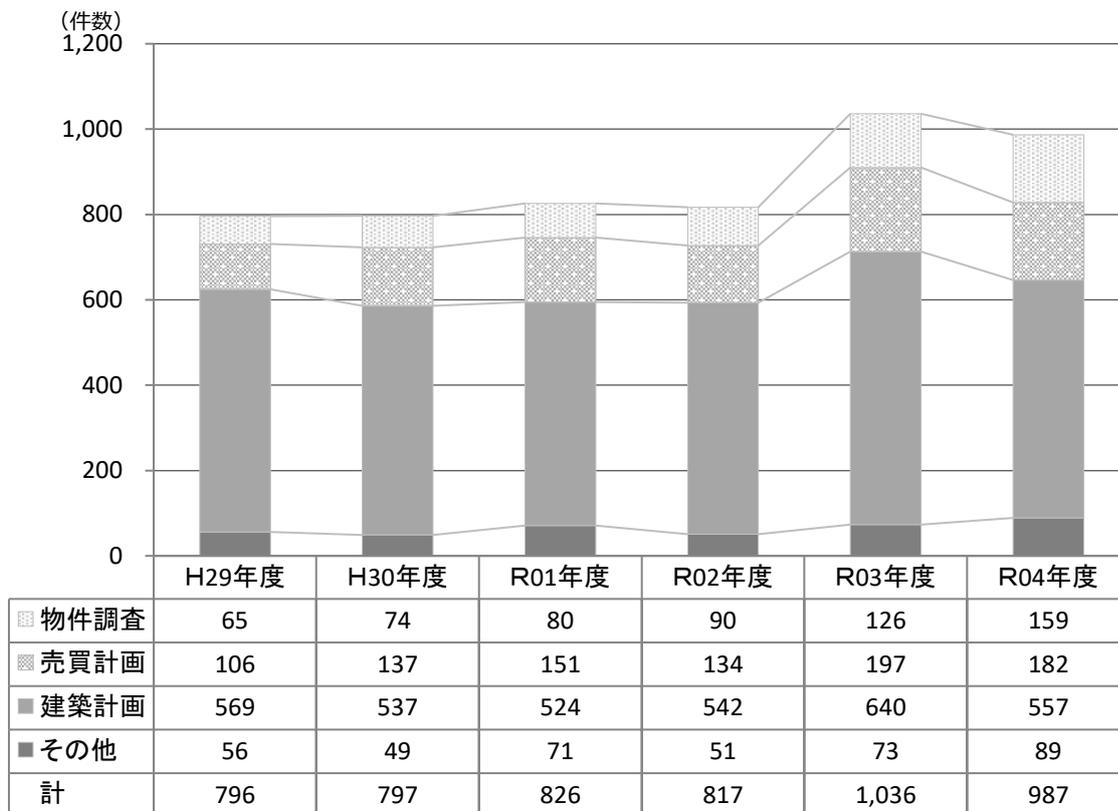
■ 県指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形文化財	三 線 翁 長 開 鐘	昭和30年5月23日	
2	”	三 線 久 場 春 殿 型	昭和33年8月15日	
3	”	三 線 真 壁 型	平成6年3月15日	
4	”	勝 連 間 切 南 風 原 村 文 書	昭和52年7月11日	
5	史 跡	平 安 名 貝 塚	昭和31年10月19日	
6	”	伊 波 城 跡	昭和36年6月15日	
7	天然記念物	チ ャ ー ン	平成3年1月16日	
8	選択文化財	津 堅 島 の 唐 踊 り	昭和53年3月24日	

■ 市指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形民俗文化財	東 恩 納 平 良 家 葬 祭 具	昭和56年10月15日	石川市第1号
2	”	伊 波 金 細 工 鍛 冶 道 具	”	” 2号
3	建造物	嘉 手 苺 観 音 堂	昭和59年6月12日	” 3号
4	有形民俗文化財	伊 波 メ ン サ ー 織 道 具 一 式	昭和63年11月15日	” 4号
5	無形民俗文化財	伊 波 メ ン サ ー 織	昭和63年11月15日	” 4号
6	史 跡	平 敷 屋 タ キ ノ ー	平成2年3月26日	勝連町第1号
7	有形民俗文化財	南 風 原 の 村 獅 子	”	” 2号
8	”	伊 波 ヌ ー ル 墓	平成6年3月4日	石川市第5号
9	工 芸 品	三 線 真 壁 型 (大 型)	”	” 6号
10	”	三 線 平 仲 知 念 型 (大 型)	”	” 7号
11	”	三 線 鴨 口 与 那 型 (中 型)	”	” 8号
12	有形民俗文化財	地 頭 代 火 の 神	平成6年3月31日	勝連町第4号
13	史 跡	ア マ ミ チ ュ ー の 墓	”	” 5号
14	有形民俗文化財	シ ル ミ チ ュ ー	”	” 6号
15	建造物	ヤ ン ガ ー	平成7年6月14日	与那城町第2号
16	名 勝	犬 名 河 (イ ン ナ ガ ー)	”	” 3号
17	建造物	ガ ー ラ 缸	”	” 4号
18	有形民俗文化財	宮 城 御 殿 (ナ ー グ ス ク ウ ド ン)	”	” 5号
19	”	与 佐 次 川 (ユ サ チ ガ ー)	”	” 6号
20	史 跡	平 安 座 西 グ ス ク	”	” 7号
21	天然記念物 (植物)	ク ボ ウ グ ス ク の 植 物 群 落	平成9年4月23日	勝連町第7号
22	有形民俗文化財	中 の 御 嶽	”	” 8号
23	史 跡	ヤ マ ト ウ ン チ ュ ウ 墓	”	” 9号
24	”	ワ イ ト ウ イ	”	” 10号
25	無形民俗文化財	南 風 原 の 獅 子 舞	平成11年3月10日	” 11号
26	”	平 安 名 の ウ ム イ ・ ク ェ ー ナ	”	” 12号
27	”	平 敷 屋 エ イ サ ー	”	” 13号
28	”	天 願 獅 子 舞	平成11年7月15日	具志川市第1号
29	”	田 場 テ イ ン ベ ー	”	” 2号
30	建造物	吉 本 家	平成12年11月7日	勝連町第14号
31	史跡 (戦争遺跡)	新 川 ・ ク ボ ウ グ ス ク 周 辺 の 陣 地 壕 群	平成16年3月3日	” 15号
32	史 跡	兼 箇 段 ジ ョ ー ミ ー チ ャ ー 墓	平成17年2月16日	具志川市第3号
33	”	田 場 ガ ー	”	” 4号
34	”	大 田 坂	”	” 5号
35	”	沖 縄 諮 詢 会 堂 跡	平成17年3月1日	石川市第9号
36	”	東 恩 納 博 物 館 跡	”	” 10号
37	”	石 川 部 落 事 務 所	”	” 11号
38	無形民俗文化財	越 来 治 喜 (マ ー ラ ン 船 の 建 造 技 術)	平成17年3月4日	与那城町第8号
39	無形民俗文化財	宮 城 ウ シ デ ー ク	”	” 9号
40	史 跡	藪 地 洞 穴 遺 跡	平成29年3月17日	うるま市第39号
41	無形民俗文化財	うるま 市 の 闘 牛	平成30年7月13日	” 40号
42	史 跡	宮 城 島 の ヒ ー タ チ (火 立 て) 跡	平成30年7月13日	” 41号
43	無形民俗文化財	平 安 座 の サ ン グ ワ チ ャ ー	令和2年4月13日	” 42号
44	有形民俗文化財	上 江 洲 の ウ フ ガ ー	令和2年4月13日	” 43号
45	史 跡	具 志 川 グ ス ク	令和5年8月9日	” 44号
46	史跡 (戦争遺跡)	具 志 川 グ ス ク の 壕	令和5年8月9日	” 45号

4 埋蔵文化財包蔵地等確認依頼統計表



令和5年3月31日現在



埋蔵文化財包蔵地等確認の立ち会い（試掘）

第2節 保存・活用の方針

1. 自然、歴史文化を知る・学ぶ

- 自然遺産と歴史文化遺産の把握調査等の実施
- 指定文化財等の保存推進
- 指定文化財の修理
- 文化財講座の開催
- 学校教育・生涯学習等への普及啓発

2. 自然、歴史文化を守る・継承する

- 案内板・解説版・標柱の設置や文化財リーフレットの作成等による周知活動
- 無形民俗文化財等の継承団体による発表の場の支援
- 伊波メンサー織保存会、うるま市文化財ガイドの会等の育成
- 資料の収集・保管、文化財防火デーの開催

3. 自然、歴史文化をまちづくりへ活用する

- 自然遺産および歴史文化遺産を重点テーマとした企画展等の開催
- 自然遺産および歴史文化遺産の魅力を市内外へ情報発信
- 保存・活用に関する一体的な取組を推進するため自治会、関係団体、専門家、庁内部局との連携・協力体制づくり



「第35回全島獅子舞フェスティバル」

令和4年度に国指定史跡の安慶名城跡を背景に開催。

4. 勝連城跡の入城者数

単位(人)

年	暦年 (1月～12月)	年度 (4月～3月)	県内	県外	外国人	備 考
2000年(平成12年)	36,000	40,500				県内外(外国人含む)
2001年(平成13年)	54,000	54,000				〃
2002年(平成14年)	54,000	54,000				〃
2003年(平成15年)	54,000	54,000				〃
2004年(平成16年)	54,000	54,000				〃
2005年(平成17年)	54,000	54,000				〃
2006年(平成18年)	83,957	99,075	35,276	58,799		県外に外国人含む
2007年(平成19年)	85,210	82,445	23,426	59,019		〃
2008年(平成20年)	94,061	96,089	23,688	72,401		〃
2009年(平成21年)	101,242	101,090	27,493	73,597		〃
2010年(平成22年)	102,919	99,484	26,114	73,370		〃
2011年(平成23年)	90,827	104,091	21,264	82,827		〃
2012年(平成24年)	132,858	144,988	24,994	119,994		〃
2013年(平成25年)	169,890	175,211	37,104	138,107		〃
2014年(平成26年)	163,840	156,052	30,393	125,659		〃
2015年(平成27年)	158,790	148,020	27,743	120,277		〃
2016年(平成28年)	161,685	171,878	26,389	126,731	18,758	
2017年(平成29年)	174,421	172,566	23,686	113,479	35,401	
2018年(平成30年)	184,646	183,881	24,798	111,630	47,453	200万人達成(1月9日)
2019年(平成31年)	166,954	162,942	21,868	102,820	38,254	令和元年
2020年(令和2年)	87,121	64,471	20,786	38,600	5,085	
2021年(令和3年)	66,483	59,238	26,396	30,163	2,679	
2022年(令和4年)	68,708	86,525	15,741	64,243	6,541	
合 計	2,399,612	2,418,546	437,159	1,511,716	154,171	

*世界遺産登録前(2000年)は、1日100人×30日×12ヶ月で計算しています。

*2000年の4～12月は、3,000人×9ヶ月=27,000人。その年度の1～3月は、4,500人×3ヶ月=13,500人。

*世界遺産登録後から平成18年までは、1日150人×30日×12ヶ月で計算しています。

*平成18年5月より実数を集計している。

第3節 資料館

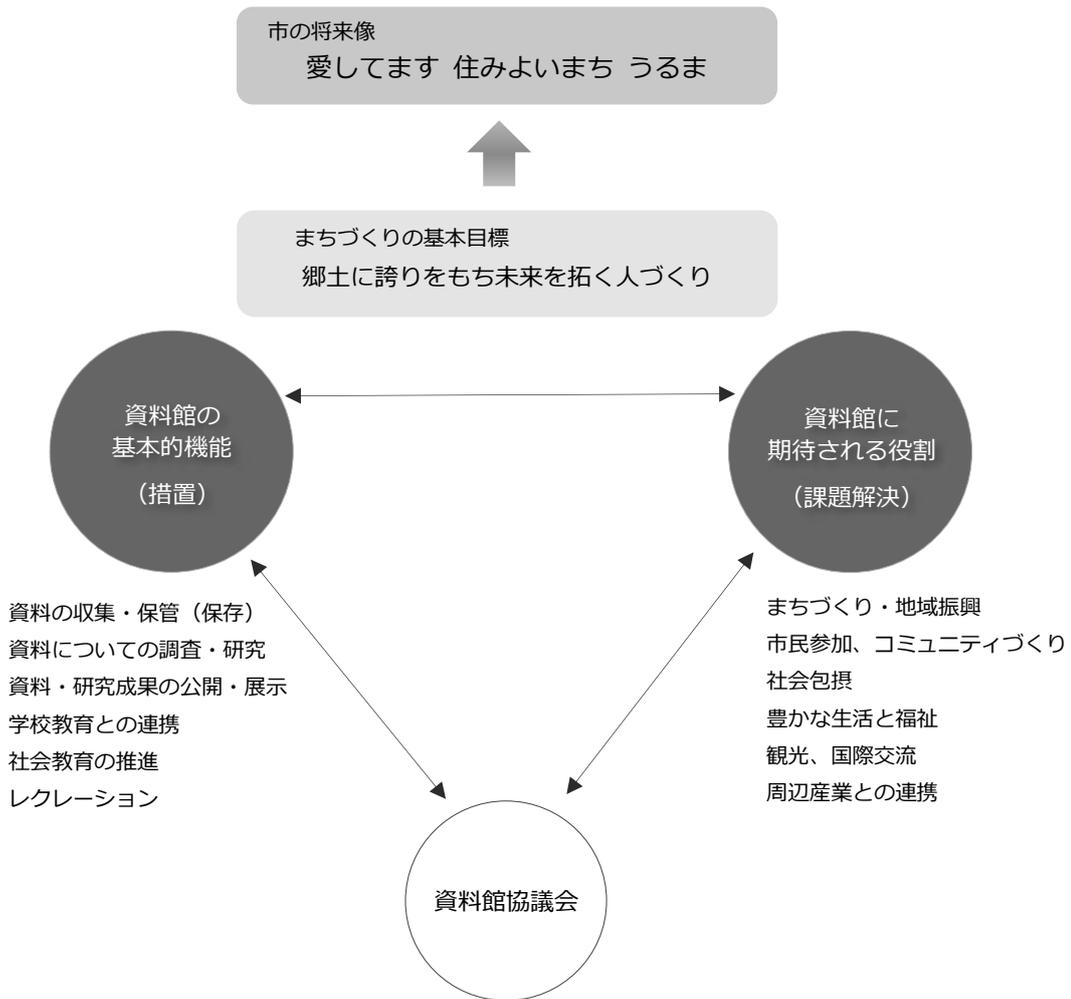
1 資料館の機能と社会構造

1. 目的

社会教育法及び文化芸術基本法に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与する（博物館法第1条）。

2. 設置

文化財および市とその周辺地域にまつわる歴史民俗に関する資料を収集、研究、保存、展示し、市民の知識および教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与する（うるま市立資料館条例第1条）。



2 うるま市立資料館

1. 石川歴史民俗資料館



Google Maps



所在地	石川曙二丁目1番55号(石川図書館複合) TEL:098-965-3866
開館	1982(昭和57)年4月1日 旧館 1992(平成4)年7月22日 新館
竣工	1992(平成4)年1月30日
面積	2階 1,094.485㎡ 展示室・事務室・収蔵庫等 3階 162.164㎡ 収蔵庫・変電室等
駐車場	地下駐車場 20台(無料)
開館時間	午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)
入館料	無料
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日の場合その翌日) 年末年始(12月29日～1月3日) 祝日(慰霊の日を含む)の翌日

展示テーマ

- 終戦直後の政治・経済・教育・文化の発祥の地 石川
- 伊波メンサー織

展示内容

- ① 収容所の資料
- ② 終戦直後の生活の様子
- ③ 製糖用窯跡の復元
- ④ 南風原村文書
- ⑤ 宮森小学校ジェット機墜落事故



城前小学校3年生民具学習



「東恩納博物館」南風原ミニディスプレイ見学



「アメリカだったうまの暮らし」沖縄アミクス中学校見学



2. 与那城歴史民俗資料館



Google Maps



Instagram

所在地	与那城中央1番地（与那城出張所複合） TEL:098-978-3149
開館	1995（平成7）年3月31日
竣工	1994（平成6）年2月21日
面積	1階 447.8㎡ 展示室・市民課窓口等 2階 372.2㎡ 資料室・講堂等
駐車場	15台（無料）
開館時間	午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
入館料	無料
休館日	土・日・祝日（慰霊の日を含む） 年末年始（12月29日～1月3日）

展示テーマ

- 遺跡を発掘調査した出土物
- 暮らしの道具

展示内容

- ① グスク時代
- ② 与那城地区の民具



教職員中堅研修の様子



南原小学校3年生民具学習



「尚巴志展」の様子



「うるまのむかし展」の様子



3. 海の文化資料館



所在地	与那城屋平4番地（海の駅あやはし館複合） TEL:098-978-8831
開館	2003（平成15）年4月27日
竣工	2002（平成14）年12月20日
面積	2階 833.82㎡ 展示場・広域交流会議室等 1階 1,140.86㎡ 特産販売所等
駐車場	300台（無料）
開館時間	午前9時～午後5時 （最終入館午後4時30分）
入館料	無料
休館日	毎週月曜日（月曜が祝日の場合その翌日） 年末年始（12月29日～1月3日） 祝日（慰霊の日を含む）の翌日



Google Maps



Blog



館の任務

- 海とくらしとともに生きる資料館
- まちに生き、市民とつくる、参画交流型の資料館
- 地域の民間伝承を未来につなげ、社会に開く資料館
- 子どもたちとともに、成長する資料館



企画展「ニライカナイ」

展示テーマ

- 海のくらしのうるま

船の模型づくり体験教室

展示内容

- ① 沖縄の木造船と港
- ② マーラン船と越來家の船大工
- ③ 干潟と海中道路
- ④ 仲原貝類コレクション



企画展「マヤー～人と猫～」



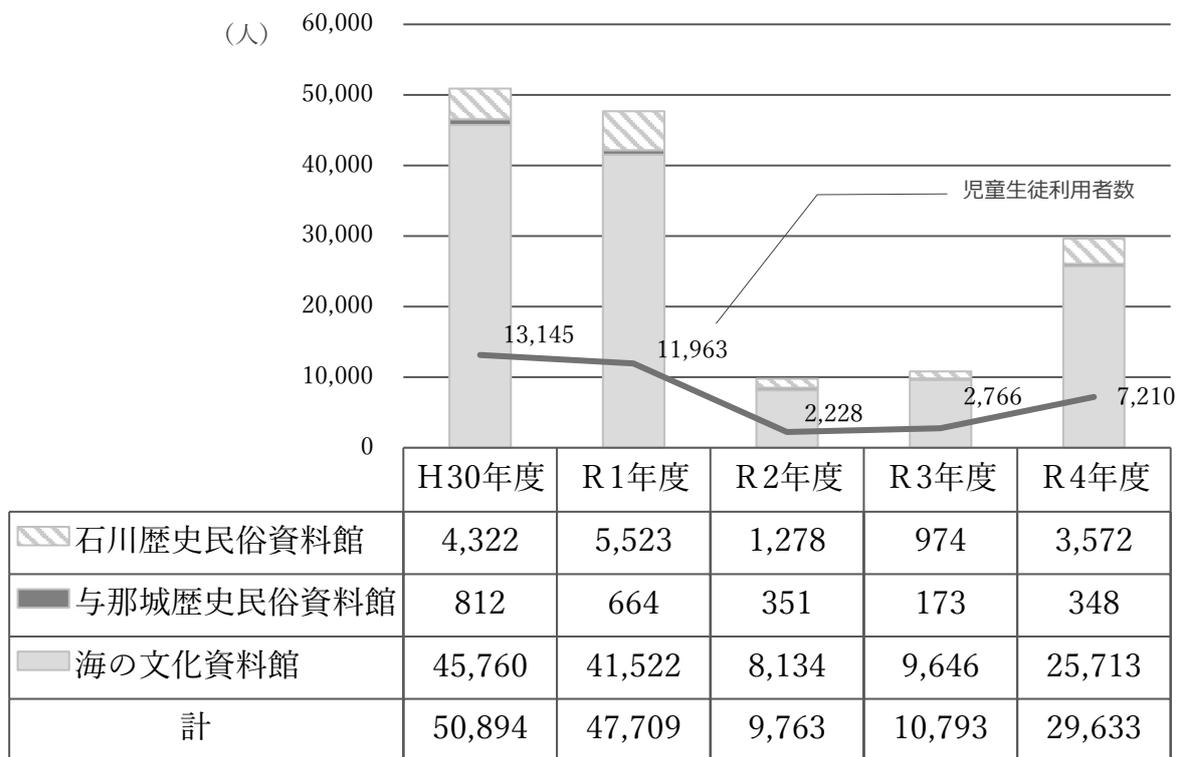
南原小学校3年生見学



野外講座 親子で学ぼうかくれた自然（安慶名城跡）



3 入館者の動向



児童生徒利用者数の内訳

資料館	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
石川歴史民俗資料館	2,660	2,794	356	312	1,609
与那城歴史民俗資料館	331	279	17	54	80
海の文化資料館	10,154	8,890	1,855	2,400	5,521
計	13,145	11,963	2,228	2,766	7,210

- 石川歴史民俗資料館（石川図書館と併設） 石川地区：24,280人居住（R5年4月現在）
- 与那城歴史民俗資料館（与那城庁舎と隣接） 勝連半島：24,173人居住（R5年4月現在）
- 海の文化資料館（海の駅あやはし館と併設） " " "

※令和5年5月1日現在本市児童・生徒数（幼稚園児～中学校）：12,561人在学

※令和2～4年度は、一部の期間で新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止に伴う臨時休館を実施した。

第4節 市史編さん

1 うるま市具志川市史編さん概要

1. 目的

先史時代から現代にいたるまでの歴史という壮大なドラマの中で、旧具志川市がどのように動き、どう変遷してきたのか、それぞれの時代を生きた人びとが、どのようにかかわってきたのかを、総合的に叙述することを目的とする。

2. 基本方針

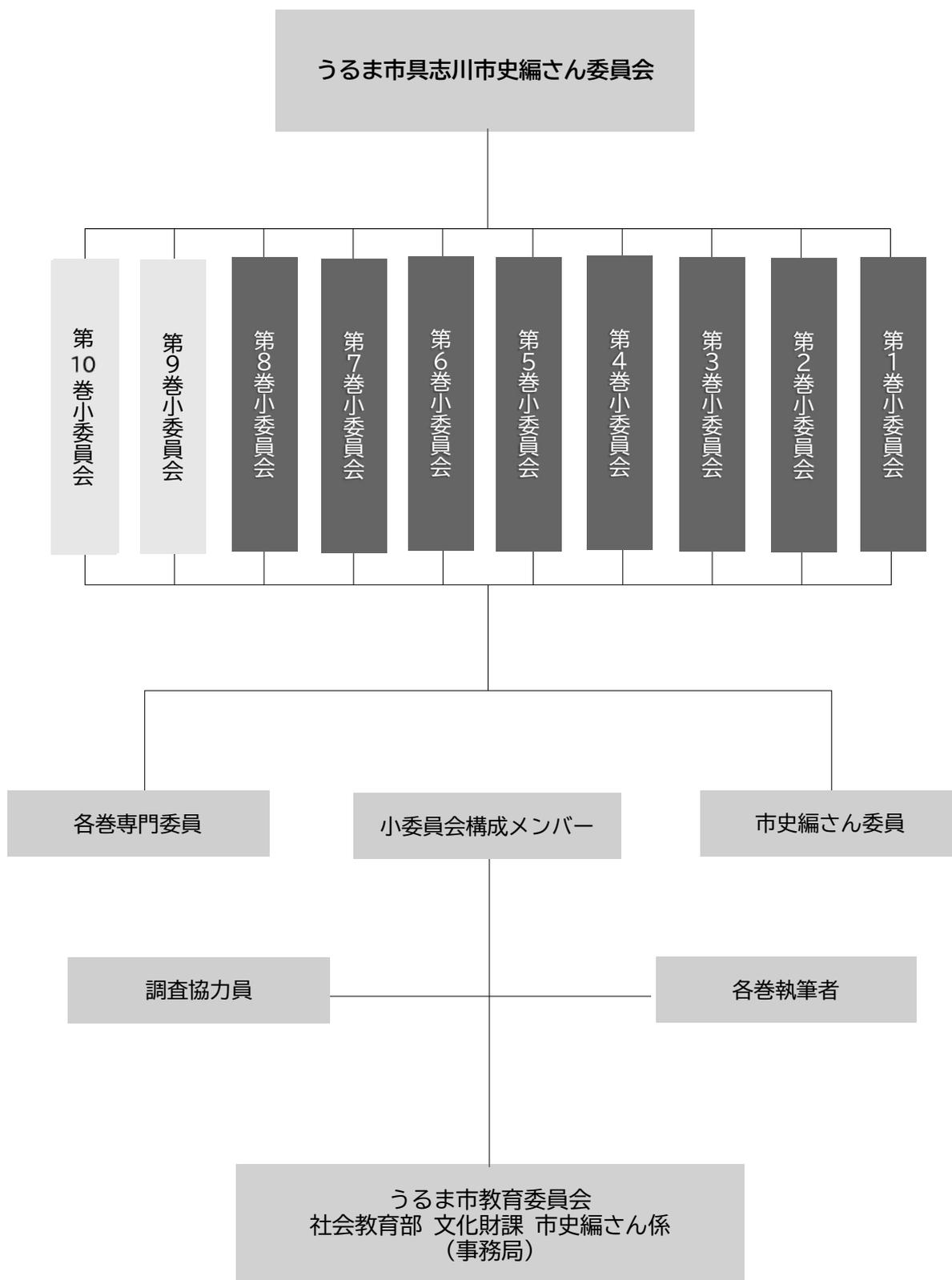
- ① 徹底的な史資料調査のもとに、科学的で実証的な編集を志向し、現在の地域史研究の水準を踏まえた学問的遺産として、後世に残せる価値あるものとする。
- ② 市民の郷土意識を啓発するとともに、文化的発展に寄与することを目標とし、市民の多面的な参加を得て史資料収集を行い、真に市民による市民のための親しみやすい地域史づくりを基本とする。

3. 巻別構成内容及び刊行年

令和5年4月現在

本 編			別 巻
巻 数	編 構 成	発行年	
第1巻	新聞集成<明治編>	平成3年	学校教材
第2巻	新聞集成<大正・昭和戦前編>	平成5年	①『ふるさとの伝え話』
第3巻	民話編 上<伝説>	平成9年	(平成6年)
	民話編 下<昔話>	平成12年	② 紙芝居(平成10年)
第4巻	移民・出稼ぎ<論考編><資料編><証言編>	平成14年	『田場大工』
第5巻	戦争編<戦時記録><戦時体験Ⅰ・Ⅱ>	平成17年	『バキムン退治』
第6巻	教育編	平成18年	
第7巻	新聞集成<昭和戦後編>	平成20年	
第8巻	民俗編	平成23年	
第9巻	文献・統計編		
第10巻	通史編		

4. うるま市具志川市史編さん委員会組織図



2 市町村史刊行物一覧

■ 具志川

具志川市史

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市誌	昭和45年
2	具志川市史 第一巻 新聞集成 明治編	平成 3年
3	具志川市史 第二巻 新聞集成 大正・昭和戦前編	平成 5年
4	具志川市史 第三巻 民話編 上 伝説	平成 9年
5	具志川市史 第三巻 民話編 下 昔話	平成12年
6	具志川市史 第四巻 移民・出稼ぎ編 (論考編・証言編・資料編) 3冊セット ※付録 具志川市史編集資料13 写真集 南洋群島の製糖とくらし	平成14年
7	具志川市史 第五巻 戦争編 (戦時記録・戦時体験 I・II) 3冊セット	平成17年
8	具志川市史 第六巻 教育編 ※付録CD	平成18年
9	具志川市史 第七巻 新聞集成 戦後編 (社会編・政治経済編・教育文化スポーツ編) 3冊 ※付録 具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事集成	平成20年
10	具志川市史 第八巻 民俗編	平成23年
11	具志川市史 別 巻 民話集 『ふるさとの伝え話』	平成 6年
12	具志川市史 別 巻 紙芝居 『田場大工』 『バキムン退治』	平成10年

具志川市史だより

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市史だより 創刊号	平成 3年
2	具志川市史だより 第2号	平成 3年
3	具志川市史だより 第3号	平成 4年
4	具志川市史だより 第4・5合併号	平成 5年
5	具志川市史だより 第6・7合併号	平成 6年
6	具志川市史だより 第8・9合併号	平成 7年
7	具志川市史だより 第10・11合併号	平成 8年
8	具志川市史だより 第12号	平成 9年
9	具志川市史だより 第13号	平成10年
10	具志川市史だより 第14号	平成11年
11	具志川市史だより 第15号	平成12年
12	具志川市史だより 第16号	平成13年
13	具志川市史だより 第17号	平成14年
14	具志川市史だより 第18号	平成15年

具志川市史編集資料

No.	書 籍 名		発行年
1	具志川市史編集 資料 1	証言記録集《明治編》明治の具志川を語る	平成 3年
2	具志川市史編集 資料 2	証言記録集《大正・昭和戦前編》 大正・昭和戦前の具志川を語る	平成 5年
3	具志川市史編集 資料 3	具志川小学校創立五十周年記念誌（復刻版）	平成 5年
4	具志川市史編集 資料 4	山城文盛寄贈資料 生まれじまの記	平成 5年
5	具志川市史編集 資料 5	又吉倫祥・武二郎・淳関係資料 海外に雄飛した三兄弟の軌跡	平成 6年
6	具志川市史編集 資料 6	防衛庁防衛研修所図書館蔵 防衛庁資料目録	平成 7年
7	具志川市史編集 資料 7	具志川市の慰霊塔	平成 7年
8	具志川市史編集 資料 9	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈上〉	平成 8年
9	具志川市史編集 資料10	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈下〉	平成10年
10	具志川市史編集 資料11	一般疎開 安村静日記 －字天願から宮崎へ－	平成10年
11	具志川市史編集 資料12	移民・出稼ぎ関係新聞記事集成 －アジア・太平洋地域－	平成14年
12	具志川市史編集 資料13	写真集 南洋群島の製糖とくらし －沖山策写真アルバムより－	平成14年
13	具志川市史編集 資料14	具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事 集成 一九四五年～一九六〇年	平成20年
14	絵はがき 4 枚セット		平成 6年
15	ふるさとの写真帳		平成 3年

■ 石川

No.	書 籍 名		発行年
1	石川市誌		昭和51年
2	石川市史（改訂）		昭和63年
3	いしかわの民話 伝説		昭和60年
4	いしかわの民話 昔話		昭和60年

■ 勝連

No.	書 籍 名		発行年
1	勝連村誌		昭和41年
2	勝連町史二		昭和59年
3	かつれんの民話 本島篇		平成 3年
4	かつれんの民話 離島篇		平成 2年

■ 与那城

No.	書 籍 名		発行年
1	与那城村史		昭和55年
2	よなぐすくの民話		平成元年

